

## 最近の雇用失業情勢（令和6年9月の内容）

## 1 県内概況

「有効求人倍率は1.25倍（季調値）」（前月より0.03ポイント上昇）

## [概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.03ポイント上昇**。

## [基調判断]

- **《情勢維持》**

## [判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

## 2 各指標の動向

新規求人数はサービス業等で増。医療・福祉等で減。

## [新規求人数]

当月：4,601人 医療・福祉の減員等により－343人  
（前年同月 6.9%減）

## [産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
  - 【サービス業】当月：654人 前年同月：+120人
  - 【卸・小売業】当月：874人 前年同月：+97人
- 「減」（対前年同月比）
  - 【医療・福祉】当月：892人 前年同月：－214人
  - 【宿泊・飲食サービス業】当月：325人 前年同月：－108人
  - 【製造業】当月：501人 前年同月：－50人

## [地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.14倍 前年同月：－0.01P  
 【米子所】当月：1.39倍 前年同月：－0.19P  
 【倉吉所】当月：1.30倍 前年同月：－0.14P

## [正社員関連]

有効求人倍率 1.09倍（15か月連続で前年同月を下回る）  
 →全国指標1.01倍（12か月連続で前年同月を下回る）

## [新規求職者数]

当月：1,838人（前年同月9.2%減）